

令和元年度 事業概要

	事項1	概 要	実 績 報 告
法 人			
1	理事会・評議員会の開催状況	－	<理事会> 第1回 令和元年5月28日 第2回 令和元年10月16日 第3回 令和2年1月30日 第4回 令和2年3月25日 <評議員会> 第1回 令和元年5月28日 第2回 令和元年10月16日 第3回 令和2年1月30日 第4回 令和2年3月25日
2	中期事業計画	【新規】子育て支援センター えん の名称変更(下記法人「2 地域貢献」とリンク) 4月1日より現子育て支援センターえんを「ときわんクニヅカ」に名称変更し、子育て世代のコミュニケーションの場として運用していく。	4月1日より計画どおり名称変更し運用。詳細は「4 地域貢献」に記載。
		【新規】短期大学部口腔保健学科の四大化に向けた検討 社会情勢、及び近隣養成校の状況等を踏まえ、設置届出の範囲内において口腔保健学科の四大化に向けた検討を進めていく。	学内にて鋭意検討中。
		【新規】新校舎（8号館）の建築	計画に基づき進行中。
		【継続】学園一体化の更なる推進 昨年度より理事長を議長とした学園一体化推進協議会を設置。学園の更なる一体化を目指し、協議を進めていく。	昨年同様、学園一体化推進協議会を開催。特に、大学と高等学校との連携を強化すべく、協議を進めている。 第1回 令和元年5月14日 1) 神戸常盤大学・同短期大学部平成31（令和元）年度入試の状況等について 2) 神戸常盤女子高等学校3年生の進路状況等について 3) 神戸常盤女子高等学校のIRについて 4) 高等教育の無償化について 第2回 令和元年6月17日 1) 神戸常盤女子高等学校に向けたアドミッション・ポリシーの策定について 第3回 令和元年12月9日 1) 学園連携事業（高大連携）について 2) 系列校入試の状況等、及びアドミッション・ポリシーについて
		【継続】耐震補強工事等（耐震診断含む） ・神戸常盤女子高等学校 特に予定なし ・神戸常盤大学 4号館（30年度以降に耐震補強工事を予定） <u>※学生寮については廃止のため耐震補強工事は実施しない。</u> ・神戸常盤大学附属ときわ幼稚園 31年度以降に耐震補強工事を予定	今年度予定なし。
		【継続】ネットワークの充実・再整備（大学） 基幹サーバー及びネットワーク機器のリプレイス、PC教室内PCリプレイス、教員PCリプレイス、職員PCリプレイス、学内Wi-Fi整備（拡充）など教育研究環境の充実、並びに学生サービスの向上を図るべく、31年度以降も順次整備・拡張していく予定。	当初計画に基づき、事務局（職員）PC、及びIdPサーバーをリプレイス。
		【継続】保健科学部診療放射線学科の設置 昨年度、新学科開設準備室を設置し。2020年4月開設を目的に保健科学部に新たに診療放射線学科を開設すべく、鋭意準備を進めている。 <今後の予定> 3月27日 収容定員増に係る認可申請 4月末 神戸常盤大学保健科学部診療放射線学科設置届出 5月末 診療放射線技師学校指定申請	計画どおり文部科学省に書類を提出し、認可・指定等を受けた。 ・3月27日 収容定員増に係る認可申請書類提出 → 認可 ・4月24日 神戸常盤大学保健科学部診療放射線学科設置届出書類提出 → 公表（6月） ・5月17日 診療放射線技師学校指定申請書類提出 → 指定（8月27日） <u>・4月1日 診療放射線学科 開設</u>
		【継続】認定こども園（幼保連携型）開設に向けた検討	検討中。
3	各センターの活動状況	健康保健センター	健康保健センターは健康管理室、及び学生相談室とともに以下の活動を行ってきた。 新入生学外オリエンテーションまでに有病者をチェックし必要に応じて面談して情報を収集した。定期健康診断を実施し、受診などの必要があると思われる学生（13名）に対してはセンター長が面談した。全国大学保健管理協会近畿地方部会に参加した。新学科開設に伴い、健康保健センターの機能の充実を図るべく、他大学の保健管理センターの見学を行った。けがや病気の緊急対応（一次対応）を行った。健康管理室の年間利用者は延べ90名であった（昨年度は64名）。そのうち9割が内科的症状（頭痛、腹痛、生理痛、倦怠感等の体調不良）での利用であった。本学ホームページにインフルエンザ等感染症など健康障害に関する情報を配信し、注意を喚起した。「新型コロナウイルス」への注意喚起文書を学生、教職員へ配布した。学生相談ではカウンセリングルームを週2日開室し、延べ174名が利用した。また学生の心の健康の保持増進を目的としたイベント（なごみのリラクゼーション）を7月と1月に開催した。

各センターの活動状況	地域交流センター	地域貢献や課題解決、まちの活性化に取り組み、特にまちの課題解決（新長田駅南地区）への取組みに多くの生徒・学生が積極的に参加した。 離島プロジェクトとして、小豆島町と連携した島の活性化事業「小豆島地域交流合宿」には神戸常盤女子高生4名、授業である「地域との協働B」履修者14名を含む37名、計41名が参加。島内にあるくこどもセンター>、<中央病院>、<土庄こども園>での実習を精力的に行った。 また、毎年恒例の学園最大規模の健康・ふれあいをテーマとしたイベントである KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタ 2019 には、888 人の来場者を記録した。 このほか、地域住民へ生涯学習の場を提供するという目的のもと「公開講座」（授業である「芸術文化論」を含む）を 16 講座開催、多くの方々に聴講いただいた。
	国際交流センター	「大学のグローバル化」の重要性が叫ばれる状況下、国際交流センターは学生にグローバルな視野を身につけさせることを目的に、以下の国際交流活動を展開した。 1. ネパール交換研修生受入プログラムの実施 2. アメリカ、ネパール、両国における医療事情の日本との比較学習（大学コンソーシアムひょうご神戸学生派遣）プログラムの実施 3. 異文化体験プログラムとして、元青年会海外協力隊隊員による講演会・ネパール語講座・インドの「ヨガ」を学び体験するヨガ教室の開催
	教職支援センター	「令和元年度教職支援プログラム・年間予定表」に基づき、教職支援センター事務室と連携を図りながら教員採用試験対策を実施した。 こども教育学科 5 期生の小学校教諭志望者の採用試験結果は、公立小学校に正規採用された者が、のべ8名（兵庫県2名、大阪府豊能市2名、愛媛県1名、高知県1名、岡山市1名、川崎市1名）、3年任期付きで採用された者が、1名（神戸市）であった。既卒生は、1期生1名（兵庫県）、2期生1名（神戸市）、3期生2名（鳥取市2名）、4期生2名（兵庫県、神戸市）の計6名が正規採用された。看護学科9期生1名が、神戸市に現役合格し、養護教諭として正規採用された。また兵庫県内の私立高校に養護教諭として既卒生1名が正規採用された。
	KTU 研究開発推進センター	今年度の目標には、①研究の量と質を高める（目標値：科研費申請者数30人、科研費採択数前年度件数以上）、②地域の課題解決に資する研究の確保（研究ブランディング事業への協力・補助期間終了後への円滑な移行など）を挙げた。 ①については、神戸常盤学術フォーラムや共同研究サロンなどの教員への支援を行った結果、科研費の申請者が27人（昨年度26人）、採択数が6人（昨年度4人）であった。 ②については、研究ブランディングAチームとの協力により14件の研究が稼働しているが、研究ブランディング事業の補助期間終了後も継続して研究が行えるように、2020 年度テーマ別研究に【地域研究】【教育研究】という区分を追加した。
	口腔保健研究センター	地域住民および玉田学園関係者の口腔の健康の維持増進のため、以下について行った。 1. 地域の口腔保健関連事業への参画 ・令和元年度長田区子どものむし歯予防のための検討会議に2回出席 ・子育て支援施設「KIT」で歯の相談会11回開催（78名参加）と講演会の実施 ・はすいけ介護予防教室3回講演（39名参加） 2. 地域住民・学生・学園教職員の口腔保健の向上 ・KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタにおいて口腔相談や口腔機能検査などの実施（330名） ・歯科健診の実施：神戸常盤大学4学科の新入生341名、ときわ幼稚園児36名、神戸常盤女子高等学校生890名 ・歯科診療所での教職員・学生・地域住民の定期的な口腔管理の実施（計608名）
	子育て総合支援施設（KIT）	人的環境の整備が進み、とりわけ KIT に専任の施設長が就任したことにより、活動がより一層活性化し、地域のニーズに対応した内容での事業を展開することができた。開催実績として、合計116回の事業を実施した。利用者数は、前年度は延べ5,686名と多数であったが、令和元年度はさらに増加して、ときわんクニヅカ：延べ利用者7084名、開園日数216日（※3月はコロナウィルスのため2日しか開園していない）てらこや：延べ利用者1,137名、開園日数220日となった。教育活動との連携も深まっており正課、準正課での活用機会も増加し学生の実践的な学びの場となっている。その成果として特にこども教育学科では、志望理由に KIT の存在を挙げる受験生が増加している。さらに地域に根ざした研究の拠点ともなっており、その成果はさまざまな機会に発表されている。
	ライフサイエンス研究センター	本センターでは15名の研究者が利用し、遺伝子組み換え、遺伝子増幅、遺伝子解析、細胞培養実験、フローサイトメトリーを行っている。その結果、外部研究費として令和元年度は科研費 基盤研究（B）分担研究2件、基盤研究（C）代表研究6件、分担研究3件、若手研究1件、日本医療研究開発機構分担研究が2件、神戸大学との共同研究費に採択された。 研究成果として英論文16編、和論文15編、国際学会発表6回、国内学会発表31回を行った。また、特許1件、人工知能学会セマンティックウェブとオントロジー研究会第2回ナレッジグラフ推論チャレンジにてベストアイデア賞、IEEE/IIAI International Congress on Applied Information Technology (IEEE/IIAI AIT 2019)にてBest Paper Awardを受賞した。

4	地域貢献	近年、学園に対する地域社会からのニーズは年々増加し、その内容也多岐にわたる。地域の要請に、より迅速かつ的確に対応するとともに、学生への教育効果を更に高めることのできる組織運営を行うことを目的に地域交流センターとボランティアセンターを統合して組織強化を図りたい。事業内容は、これまでの地域交流センター並びにボランティアセンターの活動である「地域の課題解決」や「まちの活性化」、「ボランティア（平時・有事）活動」などを幅広く展開する。地域社会＝（イコール）学びのフィールドと位置付け、大学生・高校生は教育課程内外の様々な活動を通じて地域貢献を果たすと同時に、生き抜く力（いわゆる人間力）を身に付けることを目的に事業を推進する。また、大学の教学マネジメント改革により、新たに教育課程内の授業に地域活動を取り入れる。（授業科目名：「地域との協働A」など） また、コミュニティハウスで取り組む「まちの活性化プロジェクト」においては、地元の大きな期待と神戸市の要請を受け、国・県・市からの助成（補助金）のもとに、不活性エリアの新長田南地区に、新たな子育て支援拠点の開設・運営を計画している。当該地区は、兵庫県と神戸市が合同庁舎もオープン。	神戸常盤大学子育て総合支援施設「名称：KIT」が開設し、2年目となる。 子育て広場「ときわんクニヅカ」利用者状況 ◎集計期間：2019年4月～2020年3月 ◎開設日数：216日※新型コロナウイルス感性拡大防止のため3月の開園日数は2日間 ◎利用者延べ人数：7,084名 ◎1日あたりの平均利用者数：32.8名 学びの広場「てらこや」について、今年度は、毎日7名前後の利用者がおり、順調と言える。 また、令和元年10月より神戸市子どもの居場所づくり事業に選定される。 新型コロナウイルスによる小学校休校中も朝から児童を受け入れ、新聞とTVでニュースとして取り上げられた。 本学2施設目の子育て広場「ときわんモトロク」も運営開始より2年目となる。 「ときわモトロク」利用者状況 ◎集計期間：2019年4月～2020年3月 ◎開設日数：222日※新型コロナウイルス感性拡大防止のため3月の開園日数は0日間 ◎利用者延べ人数：8,398名 ◎1日あたりの平均利用者数：37.8人 また、入園先を探している保護者が複数名いることから附属幼稚園に協力を仰ぎ、施設にて簡単な説明会を実施。入園までつながった。 本学オープンキャンパスにおいて出張子育て広場をこども教育学科と共同企画し、高校生に向けた同学科の魅力発信に微力ながら貢献出来たのではと思う。 2019年3月30日、国際交流シェアハウスやどかり（兵庫区）で、「しんかいち国際保健室（仮称）」が1日だけのプレオープンを迎え、健康を切り口にした地域住民との交流や居場所としての役割が期待されているなか、活動に参加。 また、令和元年9月10日（火）、（株）JTB 福島支店 と連携し、本学が企画・コーディネートを行い、福島県立郡山高等学校 の2年生 259名を対象に修学旅行一日目のプログラムとして震災学習ツーリズムを実施。
5	学園内の高大連携事業等の推進	昨年度からの継続事業。学生・生徒の確保、質の向上、職業意識の向上など双方のメリットのある事業を協議・展開していく。また、昨年度新設された地域交流センター、国際交流センター、神戸市との共同プロジェクト“コミュニティハウス”、の共同利用等により地域貢献、国際交流等を通じた学生・生徒のスキルアップを図る。	神戸常盤女子高等学校との連携については例年同様、医療検査学科、看護学科、並びに口腔保健学科の体験授業を実施し、専門職に対する理解、並びに女子高生徒の学習意欲の維持・向上に努めた。特に、こども教育学科においては、大学特進こども教育コース科目「保育進学基礎」にてこども教育学科専任教員と連携した授業を実施。加えて、体験授業を2回実施し、生徒のモチベーション向上に繋げた。このほか、歯科検診、進路ガイダンス、進学説明会、KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタ、女子高文化祭「健康講座」への協力、進路講座、ときわ幼稚園見学、ときわ病院見学など、概ね計画どおり実施した。特に、進路ガイダンスにおいては診療放射線学科のブースを設け、募集活動等に努めた。（【資料2-3】参照）
6	その他	・ナレッジキャピタルでの大学都市「神戸」の魅力発信プロジェクトへの参画 【概要】 神戸市の平成26年度からの継続事業として、“大学都市”神戸の魅力発信を行うとともに産学による新たなコラボレーションを促進すべく、市内7大学と神戸市が連携してグランフロント大阪の中核施設である「ナレッジキャピタル」において魅力発信事業を展開する。 また、本学の強みを広く発信する「間接広報」としても当該施設を活用し、ひいては学生募集並びに学園の発展に繋げたい。 【展示期間】 平成29年6月21日（水）～8月18日（金）までの60日間 ・ネーミングライツ（命名権）取得 兵庫県立文化体育館のネーミングライツ（命名権）を取得 【公募機関】 兵庫県 【名称】 神戸常盤アリーナ 【契約期間】 平成29年4月1日～平成32年3月31日（3年間、更新可能） ・ラジオ番組提供 ※平成31年5月より提供開始 ◎番組名：STU48の瀬戸内の胸の内（Kiss FM KOBE） ◎放送日時：毎週土曜日 12：00～12：55 ◎契約期間：1年間 備考：上記契約に付随し、Kiss Press（月に1回発行のフリーペーパー）に11回無料で広告掲載を行う。	・ナレッジキャピタルでの大学都市「神戸」の魅力発信プロジェクトへの参画 本学展示期間は次のとおり。 ◎平成31年4月22日から6月24日 ※無事終了 延べ3,000名以上の方々に本学出展ブースをご覧いただいた。 神戸市内7大学が主催となり、7月26日～28日の3日間で合同イベントを開催。 本学は7月26日に出席。 <場所>グランフロント大阪 ナレッジキャピタル アクティブスタジオ ・ネーミングライツ（命名権）取得 計画どおり掲出。 ・ラジオ番組提供 令和元年5月4日放送分より番組提供開始し、52回放送。番組の最初と最後の提供クレジット。併せて、番組内で毎回15秒CM×4回、60秒CM×1回が放送される。 同番組に出演されている Kiss FM KOBE サウンドクルー珠久美穂子さんには、『芸術文化論』において「女性を選ぶ生き方」のタイトルで講師として講演いただいた。 ※本講演は公開講座も兼ねる。 Kiss Press 広告掲載も予定どおり掲出。

大 学・短大部

1

大学（短大部）の中長期計画の策定

2

キャリア支援及び学生支援の充実

ときわ教育推進機構を中心とし、大学（短大部含む）の中長期計画を策定すべく協議を進めていく。

平成30年度も各学科就職委員会と連携の上、就職支援に取り組む。従来より推進する「キャリアサポーター（卒業生）」の参加型による在学生へのガイダンス、懇談会等を充実させ、業界研究、職種研究等の就職活動の準備対策に繋げていく。

【医療検査学科】
臨床検査技師求人については、求人が潤沢な検査センター、検診センターの見学等を行い、学生の職業観を醸成し、進路選択の幅を広げた就職支援を行なう。

【看護学科】
看護師求人については、診療報酬改定の影響から求人が減少しており、施設訪問を増やし施設との信頼関係を築き、求人獲得に努めていく。

【こども教育学科】
就職先として小学校、幼稚園、保育園、福祉施設が主であるが、小学校教諭、公立幼稚園・保育所に関しては教職支援センターと連動して、採用試験対策を講じていく。民間施設については、県、市の外郭団体との信頼関係の中、毎年複数名が就職出来ており、今後も関係を強化していく。

【口腔保健学科】
平成20年開設依頼、病院への就職に重きを置いており、平成30年3月で510名が卒業しており内37名の7%が大学病院、公立病院、民間病院へ就職している。
病院求人も少なく狭き門であるが、今後も1割が病院に就職出来るよう、求人開拓に努めていく。

学生支援業務については、家計状況が厳しく経済的支援を要する学生に対する給付型奨学金（修学支援奨学金）の予算総額を増額し、修学意思の高い学生を支援していく。また、学生相談室利用も年々増えていることから、平成 30 年度も週 2 回（1 日 5 時間）の開室で相談業務を行う。

計画どおり策定。学長より令和 2 年度年の年度初め打合せ会にて提言され、全教職員に周知するとともに、同年 4 月 1 日時点で本学 Web サイトにて情報公表した。

●令和元年度就職状況（令和 2 年 5 月 1 日現在）

	卒業生	進学希望者	進学者	就職希望者	就職者	就職率
医療検査	86	2	2	84	72	85.7%
看護	75	1	1	73	71	97.3%
こども教育	78	2	2	76	76	100.0%
口腔保健	79	3	3	76	73	96.1%

●令和元年度国家試験合格率

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均 (新卒)	全国平均
臨床検査技師	86	73	84.9%	83.1%	71.5%
看護師	74	70	94.6%	94.7%	89.2%
保健師	13	13	100.0%	96.3%	91.5%
歯科衛生士	79	79	100.0%	96.2%	94.3%

■キャリアサポーター（卒業生）による勉強会の実施

【医療検査学科】対象 3 年生

月 日	事 項
5 月 18 日	大学院について、病理、内視鏡
6 月 15 日	病態とエコー
7 月 20 日	検査センター業務について、細胞診
8 月 10 日	生理機能実習
1 月 11 日	臨地実習について

※10/12 台風接近の為中止、3/21 コロナ感染拡大影響のため中止

【看護学科】

月 日	事 項
4 月 21 日	先輩養護教諭の話聞く会（教職支援センター共催）全学年対象 西宮市立東山台小学校、神戸市立あずま幼稚園
4 月 24 日	元保健師（卒業生）との座談会
6 月 22 日	先輩看護師（卒業生）の話聞く会（3 年生対象） 川崎病院、北播磨総合医療センター、甲南病院、済生会兵庫県病院 兵庫県立こども病院、兵庫県立リハビリテーション中央病院
8 月 5 日	ときわ病院看護師との座談会 卒業生 3 名

【こども教育学科】対象 3 年生

月 日	事 項
6 月 22 日	現場で活躍する先輩の話聞く会 湊川短大附属神陵台幼稚園（幼稚園教諭）、神戸市立本山保育園（保育士） みどり丘こども園（保育教諭）、障害者施設 丹南精明園（支援員） （株）辻一平商店 営業部機械工具営業
11 月 15 日	小学校教諭合格者座談会（全学年対象）
11 月 29 日	4 年生からの就職報告会 私立幼稚園、公立保育所、施設、一般企業

【口腔保健学科】

月 日	事 項
4 月 5 日	現場で活躍する歯科衛生士の話（新入生学外オリエンテーション） 大橋歯科医院、あしや喜楽苑、白水貿易（株）
6 月 6 日	先輩歯科衛生士の話聞く会（3 年生対象） 六甲アイランド甲南病院、たるみ歯科クリニック 宝塚市国保診療所歯科保健センター
11 月 7 日	先輩歯科衛生士の話聞く会（2 年生対象） ときわ病院、西すずらん台歯科クリニック 村上隆矯正歯科、フレンド小児歯科

2

キャリア支援及び学生支援の充実

■企業研究

【医療検査学科（進路勉強会 3 年生対象）】

月 日	事 項
6 月 7.8 日	半田医師会 見学会（4 年生対象）
9 月 7 日	（株）エスアールエス、大阪府結核予防会 （株）EP 総合

※3/12 近畿健康管理センター見学会 コロナ感染拡大影響のため中止

■一般企業関連

【こども教育学科】

月 日	事 項
6 月 18 日	マイナビ就職講座（インターンシップ）
12 月 10 日	マイナビ就職講座①
12 月 17 日	マイナビ就職講座②
1 月 14 日	マイナビ就職講座③

■各種団体との懇談会

【こども教育学科】

月 日	事 項
5 月 18 日	姫路市保育協会
5 月 24 日	姫路市社会福祉施設セミナー
5 月 31 日	兵庫県私立幼稚園協会
6 月 3 日	大阪市立私立保育園連盟
6 月 14 日	兵庫県保育協会
9 月 20 日	大阪府社会福祉協議会

■施設訪問

【病院訪問】

・看護師・臨床検査技師・歯科衛生士採用施設への訪問
滋賀、大阪、岡山、兵庫県内（阪神、東播磨、西播磨） 50 施設訪問

・新規開拓（3 月実施予定）※コロナ感染拡大のため中止

【幼稚園・保育所・施設訪問】

・こども教育学科教員による施設巡回 32 施設

■各種講座

SPI 講座

【全学科】全学年

月 日	事 項
3 月 18 日、19 日	SPI 講座

小論文講座 対象 3 年生

月 日	学 科
7 月 31 日	口腔保健学科
11 月 11 日	医療検査学科
3 月 18 日	看護学科

マナー講座

【全学科】学科最終学年

月 日	事 項
4 月 23 日	就職活動にマナー講座（洋服の青山）

■令和元年度修学支援奨学金利用状況（採用分）

・新入生 35 名、在学生 57 名 計 92 名の申請

学 科	対 象	金 額	人 数	合 計（円）
医療検査	新入生	500,000	3	1,500,000
看護	〃	500,000	5	2,500,000
こども教育	〃	500,000	1	500,000
口腔保健	〃	500,000	5	2,500,000
医療検査	2 年生	450,000	2	900,000
	3 年生	450,000	1	450,000
	4 年生	425,000	5	2,125,000
看護	2 年生	500,000	3	1,500,000
	3 年生	500,000	4	2,000,000
	4 年生	475,000	1	475,000
こども教育	2 年生	400,000	3	1,200,000
	3 年生	400,000	5	2,000,000
	4 年生	375,000	3	1,125,000
口腔保健	2 年生	350,000	0	0
	3 年生	350,000	4	1,400,000
緊急対応	看護学科 4 年	750,000	1	750,000
合 計	—	—	47	20,925,000

3	入学者の安定確保	近隣地域で本学と同系統の学科が競合し、また専門職大学の開設、学科の新設により厳しい状況が見込まれる。それを踏まえ、入学者を安定的に確保するには、本学の特色と確たる実績を周知することで知名度を高めると共に在学生の自尊心を高揚させ、資質の向上を図り満足度を高める必要がある。 そのためにも、学生募集戦略に立った日常的な広報活動は勿論のこと、教職員一人ひとりが大学力の向上を目指す意識を持ちつつ、各委員会では議論を活発化させる中で情報を共有し、一層の連携強化・充実を図る。 特に本学のアドミッション・ポリシー、及び目指す教育の特徴・実績を的確に捉え、入試広報だけに止まることなく、私立大学研究ブランディング事業（下記）を活用するなど、広く大学広報も積極的に展開していく。 また、こども教育学科、口腔保健学科については、入試方法等を含め入学定員確保に向け、さらに検討を進める。 看護学科通信制課程においては、平成30年度入学生が173名と長年課題とされていた入学定員（150名）を久々に上回る結果となった。主な要因としては、入学資格である准看護師としての就業経験年数が10年以上から7年以上に変更となったこと、入学定員を150名に変更したこと、及び病院訪問のエリアを近畿圏、関東地方に加え、29年度より北陸地方でも募集強化エリアとして他課も含めた職員による病院訪問等を展開するとともに、金沢にスクーリング会場を設けた結果であると推察する。この結果に甘んじることなく、31年度入試においても近畿圏、関東地方、及び北陸地方にて病院（施設）訪問、或いは個別説明会等を展開し、学生確保に繋げたい。	①入学者等 （平成31年度）<u>465名</u> <table><tr><td>神戸常盤大学</td><td>保健科学部</td><td>医療検査学科</td><td>79名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>看護学科</td><td>83名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>看護学科（編入学）</td><td>0名</td></tr><tr><td></td><td>教育学部</td><td>こども教育学科</td><td>94名</td></tr><tr><td>神戸常盤大学短期大学部</td><td></td><td>口腔保健学科</td><td>84名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>看護学科通信制課程</td><td>125名</td></tr></table> 系列校特別奨学金（こども教育学科対象）入学者数 こども教育学科 12名 （令和2年度）<u>536名</u> <table><tr><td>神戸常盤大学</td><td>保健科学部</td><td>医療検査学科</td><td>86名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>看護学科</td><td>81名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>診療放射線学科</td><td>86名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>看護学科（編入学）</td><td>1名</td></tr><tr><td></td><td>教育学部</td><td>こども教育学科</td><td>96名</td></tr><tr><td>神戸常盤大学短期大学部</td><td></td><td>口腔保健学科</td><td>77名</td></tr><tr><td></td><td></td><td>看護学科通信制課程</td><td>109名</td></tr></table> 系列校特別奨学金（こども教育学科対象）入学者数 こども教育学科 15名 ②高校訪問 訪問学校数延べ351校（昨年323校）（内訳：県内314校、他県37校） ③病院及び診療所訪問 看護学科通信制課程においては、例年実施している病院訪問の対象を見直し、訪問が志願者獲得に繋がることの少ない関東エリアを除外した。スクーリング会場を設けている北陸エリア（石川県、富山県、福井県）と近畿エリア（特に兵庫県、大阪府）に重点を絞り、特に兵庫県内の実績のある病院を中心に広報活動を展開し、133施設に訪問を行った。また、出張進学相談会を実施し4件の申し込みがあり、8名の准看護師が参加するなど積極的に足を使った募集活動に努めたが、2020年度の入学生は109名となり、前年度を下回る結果となった。通信制課程の出願要件である准看護師としての勤務経験が10年から7年に短縮されて2年が経過したが、これを5年に見直すための検討に入ったとの情報もある。これについて、直ちに入学定員が確保できるようになるという訳ではないが、カリキュラムや教員組織変更の必要に迫られる可能性もあるため、厚生労働省の動向を注視しながら広報を展開し、入学生の確保に努めていきたい。 ④オープンキャンパス <参加者数> <table><tr><th></th><th>開催日</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>第1回</td><td>6月15日</td><td>311名</td></tr><tr><td>第2回</td><td>7月14日</td><td>811名</td></tr><tr><td>第3回</td><td>8月3日</td><td>971名</td></tr><tr><td>第4回</td><td>9月1日</td><td>650名</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>2,743名</td></tr></table> ※昨年度1,825名 ⑤業者主催入試説明会 業者主催 兵庫県内、近畿、中四国エリアにて、高校内進学相談会含め173会場 ⑥母校訪問 訪問学生数：74名 訪問学校数：57校 ⑦入試関係 <table><tr><td>・指定校推薦入試</td><td>・センター試験利用入試2次</td></tr><tr><td>・自己推薦入試</td><td>・社会人入試</td></tr><tr><td>・公募推薦入試</td><td>・社会人自己推薦入試</td></tr><tr><td>・公募推薦入試2次</td><td>・看護学科編入学入試</td></tr><tr><td>・一般入試前期</td><td>・外国人留学生入試</td></tr><tr><td>・一般入試中期</td><td>・看護学科通信制課題提出型1次～3次</td></tr><tr><td>・一般入試後期</td><td>・看護学科通信制推薦入試1次、2次</td></tr><tr><td>・センター試験利用入試</td><td>・看護学科通信制自己推薦入試1次～3次</td></tr></table>	神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	79名			看護学科	83名			看護学科（編入学）	0名		教育学部	こども教育学科	94名	神戸常盤大学短期大学部		口腔保健学科	84名			看護学科通信制課程	125名	神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	86名			看護学科	81名			診療放射線学科	86名			看護学科（編入学）	1名		教育学部	こども教育学科	96名	神戸常盤大学短期大学部		口腔保健学科	77名			看護学科通信制課程	109名		開催日	参加者数	第1回	6月15日	311名	第2回	7月14日	811名	第3回	8月3日	971名	第4回	9月1日	650名	合 計		2,743名	・指定校推薦入試	・センター試験利用入試2次	・自己推薦入試	・社会人入試	・公募推薦入試	・社会人自己推薦入試	・公募推薦入試2次	・看護学科編入学入試	・一般入試前期	・外国人留学生入試	・一般入試中期	・看護学科通信制課題提出型1次～3次	・一般入試後期	・看護学科通信制推薦入試1次、2次	・センター試験利用入試	・看護学科通信制自己推薦入試1次～3次
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	79名																																																																																						
		看護学科	83名																																																																																						
		看護学科（編入学）	0名																																																																																						
	教育学部	こども教育学科	94名																																																																																						
神戸常盤大学短期大学部		口腔保健学科	84名																																																																																						
		看護学科通信制課程	125名																																																																																						
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	86名																																																																																						
		看護学科	81名																																																																																						
		診療放射線学科	86名																																																																																						
		看護学科（編入学）	1名																																																																																						
	教育学部	こども教育学科	96名																																																																																						
神戸常盤大学短期大学部		口腔保健学科	77名																																																																																						
		看護学科通信制課程	109名																																																																																						
	開催日	参加者数																																																																																							
第1回	6月15日	311名																																																																																							
第2回	7月14日	811名																																																																																							
第3回	8月3日	971名																																																																																							
第4回	9月1日	650名																																																																																							
合 計		2,743名																																																																																							
・指定校推薦入試	・センター試験利用入試2次																																																																																								
・自己推薦入試	・社会人入試																																																																																								
・公募推薦入試	・社会人自己推薦入試																																																																																								
・公募推薦入試2次	・看護学科編入学入試																																																																																								
・一般入試前期	・外国人留学生入試																																																																																								
・一般入試中期	・看護学科通信制課題提出型1次～3次																																																																																								
・一般入試後期	・看護学科通信制推薦入試1次、2次																																																																																								
・センター試験利用入試	・看護学科通信制自己推薦入試1次～3次																																																																																								

4	自己点検・評価への取組	- PDCA サイクルの「P」における年度当初の全学共有と形成評価を継続し、「C の段階」の実行力を高め、年度末の総括評価（年次報告書に基づく点検・評価）に至る過程を充実させる。これにより全学的な自己改善へのフィードバック体制を確立する。 - 上記計画における「中期目標」に対して、大学の「目指す大学像（教育、研究、社会貢献）」を念頭に策定し、系統的な目標管理を行う。 「短期大学基準協会」による認証評価受審（次年度）に向け、既に組織している「短期大学部認証評価準備委員会」を中心に、「報告書作成」を円滑に行う。加えて「大学認証評価受審（令和 3 年予定）」の準備も円滑に行う。	- 左記における各組織の「P」の段階は、「各組織の年間活動計画」として年度当初に 29 の組織より提示されている。これは平成 29 年度から開始したものであるが、この定着により最終の評価に至る計画の修正等が可能となり、年度末の「年次報告書」においてその実行力が高まっていることがうかがわれる（学修成果や学修支援の向上、入学生確保や退学者の減少、その他）。 - 上記年間活動計画の際に、今年度からは中期目標立案において、「目指す大学像」を念頭に策定している。これにより年次活動目標は、ほぼ全学的な系統性を目指した策定となっている。以上の結果は、「各組織の本年度の活動計画一覧表」として、当委員会での評価後、運営委員会及び 8 月教授会を経て、全学に表示し共有した。2 つ目は、当委員会による点検評価後、教育研究運営の総括評価として、「令和元年度年次報告書」を刊行し、またホームページで公開している。 - 短期大学部では、3 月に準備委員会を組織し、3 回の委員会を開催、また全学代表者会議を経て、「自己点検・評価報告書」作成を開始し、令和 2 年 6 月提出に向けての完成を目指した。しかし新型コロナウイルス感染拡大防止のための「緊急事態宣言」により、本学においても会議等の制約があり、全学的な調整が不十分となっている。これに対しては、基準協会から、報告書提出期間の変更の通知（7 月 27 日～31 日までの 1 か月の延長）があり、現在最終報告書として内容を調整、推敲中である。 大学認証評価受審に関しては、11 月に「大学認証評価準備員会」を立ち上げ、現在までに 2 回の会議を開催し、受審項目に沿った点検・評価を継続中である。
5	国際交流関係事業の推進	- ネパール交換研修の 20 周年記念式典を平成 30 年 10 月 7 日に実施し、広報にも努める。この記念式典に合わせて、昨年度実施を延期させた交換研修生の受入を実施し、それに加え通常どおりの派遣も実施する。 - 大学コンソーシアムひょうご神戸に海外学生派遣プログラムとして「国際保健医療活動Ⅱ（ネパール、米国、フィリピン）」を開放する。 - JICA 青年海外協力隊経験者を講師として招聘し、学生向け講演会を実施する。 - 国際交流センター拠点としての同窓会室・国際交流センターの利用促進を図るべく、留学生や外部講師による事業を実施する。	①ネパール研修生受入れ 期 間：11 月 30 日～12 月 7 日 研修生：2 名（Hashina Rai、Nitu Rai） ②「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（アメリカ、ネパール） 期 間：9 月 6 日～9 月 16 日 研修生：アメリカ 8 名（医療検査学科－7 名、他大学－1 名） ネパール 8 名（医療検査学科－5 名、看護学科－3 名） ③「海外研修」の海外研修（アメリカ） 期 間：9 月 2 日～9 月 9 日 研修生：18 名（口腔保健学科） ④JICA 海外青年協力隊講演会 日 時：11 月 11 日 14：40～16：10 場 所：ワイガヤラボ 講 師：元小学校教諭 子守智子氏 参加人数：40 名 ⑤異文化体験プログラム「ヨガ教室」 日 時：6 月 21 日 18：10～19：10 テーマ：ヨガを通じてインドの文化を考える 場 所：エクササイズルーム 講 師：山本ヨガ研究所所長 山本正子氏 参加人数：19 名 ⑥ネパール語・ネパール文化勉強会 日 時：7 月 8 日 18：00～19：00 8 月 9 日 10：40～11：40 11 月 8 日 17：00～18：00 場 所：国際交流センター同窓会室 講 師：日本経済大学 3 年 Mr. Padhya Dharma Raj 参加人数：のべ 33 名
6	競争的資金の獲得	高等教育機関を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、国の施策を意識しながらも私学としての独自色を出した大学改革を推し進め、国庫補助金を活用しながら更なる教育研究環境の充実を図る。また、大学研究開発推進センターを中心とし学内の研究基盤整備を推進することにより、科研費等の採択率向上も目指す。	①科学研究費補助金 研究代表者分 昨年度からの継続分が 10 件（転入 2 件含む）、今年度新規分が 4 件、合計 14 件が採択。 〔獲得金額〕直接経費：10,040,000 円、間接経費：2,850,000 円 研究分担者分 昨年度からの継続分含み 14 件が採択。 〔獲得金額〕直接経費：1,900,000 円、間接経費：570,000 円 ②受託研究費 （株）日本食品エコロジー研究所 年間 2,000,000 円（3 年契約の 1 年目） 極東製薬工業（株） 年間 7,000,000 円（3 年契約の 1 年目） ③科学研究費獲得学内研修会 神戸常盤学術フォーラムの KTU 企画内において「科研費申請に向けて」と題して実施。 日 時：令和元年 8 月 22 日 参加人数：80 名（教員 70 名、職員 10 名）
7	大学間連携事業の推進	大学コンソーシアムひょうご神戸に海外学生派遣プログラム＜フィールドワーク型プログラム＞を開放し、中心的な役割を担う。また、単位互換事業にも本プログラムを開放する。	「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（アメリカ、フィリピン、ネパール） 期 間：9 月 6 日～9 月 16 日 研修生：アメリカ 8 名（医療検査学科－7 名、他大学－1 名） ネパール 8 名（医療検査学科－5 名、看護学科－3 名） 単位互換制度活用学生：1 名

8	産学連携事業の推進	特命教授及び特命助教各 1 名と平成 29 年度に設立された Kten Bio（株）にて「環境中ノロウイルスの高感度検出キットの開発」プロジェクトを継続し、継続的事業への協力を行う。	①Kten Bio 研究者との交流 神戸常盤学術フォーラムにて、(株) 日本食品エコロジー研究所所属の本学卒業生を研究代表書とし、「通常の検便検査の対象菌にカンピロバクターを追加した遺伝子検査キットの開発と実地評価」を口頭発表。 ②国際フロンティア産業メッセ 2019 期 間：9 月 5 日～9 月 6 日 出展内容：医療・教育現場における潜在的ニーズの発掘（私立大学研究ブランディング事業）
9	研究ブランディング事業の実施	本学が平成 29 年度私立大学研究ブランディング事業に（文部科学省）採択されたことを受け、学内にプロジェクトチームを編成。「地域子育て支援拠点」となる「子育て総合支援施設」を神戸市長田区（アスタくにつか内）に開設し、地域貢献、或いは研究活動等を進めていくことで、大学のブランド力向上に繋げていく。なお、本事業は平成 33 年度までの継続事業。	子育て総合支援施設 KIT を拠点とした研究活動 件 数：14 件 代表者：14 名 （医療検査学科－1 名、看護学科－5 名、こども教育学科－5 名、口腔保健学科－1 名、事務局－2 名） 報 告：神戸常盤学術フォーラム（8 月 22 日）にてポスター発表 14 件 成 果：査読あり論文 1 編 査読無し論文 1 編 講演・口頭発表等 10 件 神戸常盤学術フォーラム（8 月 22 日）でのポスター発表 14 件 ※本事業の支援期間が平成 31 年度（令和元年度）までである。

高 校			
1	中期計画の策定	①全職員による募集活動を推進していく	①全職員による募集活動 ・中学校訪問(年5回)、中学校での教育相談等は募集担当教員が地区担当を決め実施。 中学校からの要請で進路指導高等学校説明会に参加した。(36校) 今年は11月に家庭科教員、特進クラス担任も募集担当教員とともに参加した。 ・2回のオープンスクールや10月から13回実施した入試説明会・学校見学会では教員だけでなく、事務職員も含め、全職員であたった。できるだけ丁寧な説明や案内を心がけ、本校の良き点を理解してもらうように努めた。今年は家庭科に特化した日を設定して家庭科に関心のある中学生・保護者に来校してもらい、在校生も含めて体験実習等を実施。
		②学園一体化にともなった「高校 IR」の構築を目指す	②学園一体化にともなった「高校 IR」の構築 ・本校独自の教務システムの運用から、学園一体化にともない高校 IR の構築を検討、足利常務理事、教務部が大学 IR 推進室と定期的に連絡会を実施。技術的なものも含め中期的に協議し、募集、教務、進路、個人情報等の一元化を目指し検討中。
2	教育課程	①教科 ・科、コースにおいて特色ある教育課程の実践と検証 ・進路（進学・就職）に向けた習熟度別授業の実践と検証 ・学習指導要領改訂（2022）に向けての準備、検討 教科等で身につける資質・能力を「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性」の3つの柱から検討 ・教科科目、学校行事等の検討と精選	①教科 ・科、コースにおいて特色ある教育課程 普通科（総合コース・特進コース）・家庭科の生徒が進路を見据えた力を身につけるため習熟度別授業を実施。また、各種検定試験への取り組みや家庭科の実習授業等に力を入れ実施した。 （「各学科・コースの特色をアピールするプログラムの継続」に詳細を掲載） ・進路（進学・就職）に向けた習熟度別授業 1年 総合コース「国語演習」3クラスを3段階に分けて4クラスの習熟度別授業を実施。 総合コース「数学Ⅰ」3クラスを4クラスに分けて習熟度別授業を実施。 家庭科「数学Ⅰ」2クラスを3クラスに分けて習熟度別授業を実施。 総合コース「英語表現Ⅰ」3クラスを6クラスに分けて習熟度別授業を実施。 こども教育コース「進学英語」文系コースの生徒に開講 2年 看護医療コース「コミュニケーション英語Ⅱ」2クラスを2つに分けて習熟度別授業を実施。 こども教育コース「国語古典B」文系コースの生徒に開講。 こども教育コース「進学英語」文系コースの生徒に開講。 3年 こども教育コース「国語古典B」文系コースの生徒に開講。 こども教育コース「進学英語」文系コースの生徒に開講。 ・学習指導要領改訂（2022）に向けての準備、検討 改定にともなう準備委員会を4月から7回実施。 （5月22日、7月3日、9月2日、10月9日、11月9日、12月19日、2月25日） 検討されたことは職員会、教科会で報告。さらに検討を重ねていく。 ・教科科目、学校行事等の検討と精選 年間授業時数等の確保を考慮し修学旅行（事前、事後指導）を含め学校行事の検討をした。 ○入学式（4月9日） 新入生（73回生）258名が入学。 ○1年オリエンテーション合宿：蒜山高原（4月15日～17日 2泊3日） 集団訓練、進路ガイダンス、学級対抗の大縄跳び大会等を実施。 ○陸上競技大会：王子陸上競技場（5月13日） 1人2種目以上出場、クラス対抗のリレーや大縄跳び大会でクラスの和を実感。 ○学習合宿：須磨寺の「寿楼」（8月26日～28日 2泊3日） 1年、2年の特進クラスの生徒157名が全員参加。塾講師、卒業生の大学生が複数名支援。 ○文化祭（10月5日・6日） 1日目は校内での模擬店、クラス展示。 2日目はメインホールで実施。文化部の発表、3年こども教育コースのミュージカル、家庭科服飾コースのファッションショー。保護者も多数参加、盛況であった。 ○秋の遠足(11月8日) 3年生は六甲山、2年生は須磨、1年生はしあわせの村方面へクラスごとで実施。 3年生キャリアクラスは万博記念公園内の国立民族学博物館へ行った。 ○芸術鑑賞会：神戸常盤アリーナ(11月26日) 午前中は授業、午後、神戸常盤アリーナで芸術鑑賞会を実施。 今年は「幕末青春伝～坂本龍馬と勝海舟～」(劇団自由人会)を観劇。 ○シンガポール修学旅行（1月11日～16日） 2年生がA、B班に分かれ3泊5日の修学旅行を実施。 地元の女子学生との交流や観光地を巡った。帰国後の生徒アンケートでは95%以上の生徒が満足という回答であった。 ○予餞会：大学メインホール（2月16日） 1・2年生が卒業を控えた3年生を送る会。特に部活の後輩からのエールには感激していた。 ○第71回卒業証書授与式（2月21日） 314名が卒業。中学校の先生方も来賓として多数参加され、厳かで卒業生の思いが入った式であった。

2	教育課程	②特別活動 ・特別活動の活動項目、内容の検証 ・生徒会活動の活性化と外部との連携の検討 ・ボランティア活動への積極的な参加とボランティアセンターとの連携強化 ・福祉教育活動や体験活動の継続的な取り組み ・部活動の強化と活性化 ・各学科・コースの特色をアピールするプログラムの継続 ＜家庭科＞ 専門学校講師の実技指導、検定試験の継続 ＜キャリアコース＞ 各種検定試験の継続 秘書検定、全商簿記実務検定、全商ビジネス文書実務検定、全商情報処理検定等 「トキワアクト」、「キャリア実践」の継続 ＜特進コース＞ 習熟度別授業、少人数授業の検証 ＜全校生＞ 各種検定試験の継続 英語検定・漢字検定・硬筆書写検定 検定試験受験前講習会等	②特別活動 ・特別活動の活動項目、内容の検証 1年生「防犯講座、スマホ・ケータイ安全教室」2名の講師による講義。（6月5日） 「人権学習」（4月～6月） 2年生「人権学習」（4月～6月） 「進路講座」（6月～） 3年生「人権学習」（4月～6月） 「進路ガイダンス」（4月～） 「進路講座」（4月～） 「保護者向け進路説明会」（5月9日・10日） 「就職セミナー」（5月27日～毎週、月曜日の放課後実施。）進路（進学・就職）に向けての知識と前向きな意識を身につけさせるため実施。 「社会人準備講座」（11月～） ・生徒会活動の活性化と外部との連携 生徒総会（5月29日） 運動部壮行会（4月26日） 陸上競技大会（5月13日） 生徒会を中心としたボランティア活動 「今、福島でしか学べないことがある！ふくしま学宿」（8月20日～22日 2泊3日） 福島県の観光物産課より依頼あり、生徒会役員3名が参加。引率教員も1名参加。 ・ボランティア活動への積極的な参加とボランティアセンターとの連携強化 ボランティアセンター登録者数 <table><tr><td>1年生</td><td>2年生</td><td>3年生</td><td>計</td></tr><tr><td>7名</td><td>30名</td><td>27名</td><td>64名</td></tr></table> ボランティア説明会（1年生：4月11日、全学年：6月20日、7月16日） ※登録はしていないが部活動に入っている生徒で土・日、夏休み等にボランティアに参加する生徒も多かった。 ○定期ボランティア 神戸市立細田児童館（毎週1回：こども施設ボランティア） 長田すみれビレッジ（毎週1回：高齢者施設ボランティア） ○地域活動ボランティア すまいるぽっとらっく（8月14日：青陽須磨支援学校） 片山児童館「夏祭り」（7月25日） 大正筋商店街縁日（7月20日） ぐーじーきらめき工房（8月9日） サルビアディホーム夏祭り（8月6日～8日） よーせてランドなつまつり：長田区役所（8月29日） オリーブ島の地域交流合宿事業 神戸常盤大学生と高校生4名による地域活性化活動に参加（8月18日～20日） 1・17震災追悼行事：新長田駅周辺（1月17日） ・福祉教育活動や体験活動の継続的な取り組み ○夏休み中(7月～8月)の福祉体験学習活動に参加した生徒数 <table><tr><td>1年生</td><td>2年生</td><td>3年生</td><td>計</td></tr><tr><td>30名</td><td>14名</td><td>31名</td><td>75名</td></tr></table> 1期（7月24日～26日）・2期（7月30日～8月1日）・3期（8月5日～7日） 神戸市内60カ所の保育所、児童館、高齢者施設、障害者施設等で福祉体験活動を実施。職員も手分けをして生徒の活動を見て回り激励をした。 3年福祉体験活動（11月20日） 午後、専門の講師による体験活動を実施。 盲導犬・手話・点字・高齢者介護体験・福祉教育ビデオ鑑賞 ・部活動の強化と活性化 運動部9部、文化部20部 計29部 部活動部員数 運動部217名 文化部295名 合計512名 部活動加入率 1年60.9% 2年57.7% 3年58.7% 全学年59.1% ＜主な部活動の戦歴と活動＞ ソフトボール部 兵庫県総合体育大会 ベスト8 神戸市秋季大会 準優勝 兵庫県選抜ソフトボール大会 優勝 ※全国大会（松山市）出場権を得るが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため全国大会（3月21日～）は中止。 弓道部 兵庫県総合体育大会 個人1名 近畿大会出場 兵庫県弓道新人大会 個人戦 第3位 神戸支部秋季弓道大会 個人戦 優勝	1年生	2年生	3年生	計	7名	30名	27名	64名	1年生	2年生	3年生	計	30名	14名	31名	75名
1年生	2年生	3年生	計																
7名	30名	27名	64名																
1年生	2年生	3年生	計																
30名	14名	31名	75名																

2	教育課程		バレーボール部 兵庫県総合体育大会 3位 近畿大会出場 優秀選手に2名 神戸市私立高等学校大会 優勝 兵庫県ビーチバレーボール大会 優勝 3位 優勝チームは国民体育大会（茨城大会）に出場（うち2組が近畿大会に出場 近畿ビーチバレーボール大会 優勝 3位 全国ビーチバレー女子ジュニア大会 3位 国民体育大会（茨城大会） 予選リーグ突破、決勝トーナメント1回戦敗退 春高バレー兵庫県予選 準優勝 優秀選手賞2名 バスケットボール部 神戸市総合体育大会長田区大会 優勝 バトントワーリング部 関西バトントワーリングコンテスト 各部門で金賞8名 銀賞3名 兵庫県バトントワーリング大会 金賞 「神戸まつり おまつりパレード」フラワーロードに参加 兵庫県高等学校総合文化祭出場 関西中高バトントワーリング大会 A・Bチームともに金賞 関西バトントワーリング大会 スリーバトン女子シニアの部で個人1名全国大会出場権を得るが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため全国大会（3月28日）は延期。 フットサル部 フットサルフェスタ2019 優勝 LienCUP 優勝 兵庫県1部リーグ 全国フットサル大会県予選1次突破 水野レディースカップ 優勝 卓球部 神戸市総合体育大会長田区大会 個人シングル優勝 神戸市新人大会 個人ダブルス 3位 吹奏楽部 兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会 銀賞 長田区音楽のつどい（神戸常盤アリーナ）参加 「花水木まつり」長田商店街に参加 第5回定期演奏会－新長田ピフレホールー 兵庫県私学連合音楽会に出場 ギター部 高校・中学校軽音楽系クラブコンテスト大阪大会出演 演劇部 ソニックホール高校演劇上演会KOBENATSUFES出演 神戸市高校演劇発表会 最優秀賞 兵庫県高校演劇発表会 優秀賞 書道部 高校生選抜書展（書の甲子園） 入選2名 兵庫県高等学校総合文化祭書道展 特選1名 私学の書展 入選1名 コーラス部 「1・17震災祈念コンサート～1000人の歌声を響かせる～」に出演 ボランティア部 台風19号災害見舞金募金(新長田駅前)を実施 「高校生ともしびボランティアアワード」の表彰を授与される ※家庭科3年生チームが「スイーツ甲子園」にケーキ2点を出品。優秀賞を受賞。 ・各学科コースの特色をアピールするプログラム <家庭科> 専門学校講師の実技指導、検定試験の継続 3年調理・製菓コース特別授業（5月27日・28日） 全国高校家庭科食物調理技術検定試験（2級・3級）に向けて日本調理製菓専門学校の講師を招き、課題実習授業を実施。 2・3年服飾コース特別授業（9月20日） 上田安子服飾専門学校の講師を招き、服飾関係の指導と文化祭ファッションショーのアドバイスを受ける。ウォーキング講習。 3年テーブルマナー講習会 六甲荘（11月19日） 1・2年調理・製菓コース特別授業（1月20日、2月28日） 「神戸製菓専門学校」の講師による和菓子作り 2年服飾コース特別授業（2月14日） 専門学校講師によるドローイング（ドレス製作工程）の講習 <キャリアコース> 各種検定試験の継続 全商ビジネス文書実務検定（6月30日、11月24日） 秘書検定（6月16日、11月10日、2月9日） 全商ビジネスコミュニケーション検定（7月14日） 情報処理検定（1月19日）
---	------	--	--

2	教育課程		ー「トキワアクト」、「キャリア実践」ー 【3年】 農業体験 ときわ幼稚園児との交流ーさつまいもの苗植えー（5月30日） ときわ幼稚園児との交流ーさつまいもの収穫ー（10月31日） 畑の整地作業、作物の植え付け作業、水やり、雑草抜き、収穫等。（毎週火曜日） 夏休み中は生徒が当番制で水やり。 文化祭では「キュウリの一本漬け」を販売（10月5日） 大学での健康ふれあいフェスタでは毎年、実施している「焼きいも」を配った。（10月13日） 「令和元年度トキワアクト報告会」（1月23日） 生徒が班ごとにテーマを決め、企画し、1年間の取り組みを発表した。 【2年】 体験実習プログラム NP0 楽農菜園の指導者との交流会（5月9日） ブルーベリー園見学と軽作業、職業講話ー菊水ゴルフクラブ内ドンキーバレーー（6月6日） 高齢者福祉施設「花みさき」への訪問ボランティア（2月13日） 作物農業体験 畑の整地作業、作物の植え付け作業、水やり、雑草抜き、収穫等。（毎週木曜日） 3年と同じく夏休み中は生徒が当番制で水やり。 文化祭では「焼きトウモロコシ・秋野菜」を販売（10月5日） ○「鳴門オレンジを植樹、育てる」新しい取り組みを昨年から計画し進行中。 昨年に引き続き、淡路市志筑に研修を兼ねて校外学習を実施した。（8月29日） 淡路で開催された「ナチュラルライフフェスタ」に参加。（11月2日・3日） 家庭科研究部の有志が鳴門オレンジ入りクッキーを作り、試食会を実施、好評であった。 ＜収穫した作物＞ 玉ねぎ、茄子、オクラ、ピーマン、トマト、キュウリ、イチゴ、メロン、西瓜、カボチャ ブルーベリー、トウモロコシ、ジャガイモ ＜特進コース＞ こども教育コースは音楽科教師と専門のピアノ講師（2名）による希望生徒への授業外個別レッスンを実施。2年、3年生合わせて22名が放課後、レッスンを受講。 3年ピアノ個別レッスン受講生との成果発表会（2月5日） 3年こども教育コースが1・2年こども教育コースの後輩に「絵本読み聞かせ会」。（2月7日） 3年看護コースが1・2年看護コースの後輩に大学受験勉強の実体験発表会。（2月17日） ＜全校生対象の各種検定試験＞ 英語検定2級、準2級、3級（5月31日、6月30日、1月24日、2月23日） 漢字検定（6月18日、8月21日、10月26日、2月16日） 日本語検定（6月7日、11月9日） 硬筆書写検定（6月14日、11月10日、1月24日）
		③総合的な学習の時間 総合的な学習の時間の活動内容の検証	③総合的な学習の時間 外部講師による防犯講座、性教育を実施。 ・「防犯講座、スマホ・ケータイ安全教室」講師2名（6月5日） ・「性教育」県立総合衛生学院助産学科の教員・学生による命の大切さ・幼児とのふれあいについての授業を実施。（6月25日・7月9日） ・STI講習会を実施。（1月17日） ・兵庫医科大学教授による講演「性感染症とHIV・エイズについての基礎知識」

3	進路指導	①進路指導体制の充実 ・進学、就職の現状分析と課題の確認 ・進路先の拡充 ・就職内定者への「社会人準備講座」等の実施	【進路状況】 卒業者数 314 名 <進路決定率> 93.9% a. 進学・就職者数 <table><tr><td>進学</td><td>222 名</td></tr><tr><td><内訳> 四年制大学</td><td>105 名</td></tr><tr><td>短期大学</td><td>28 名</td></tr><tr><td>専門学校</td><td>89 名</td></tr><tr><td>就職</td><td>73 名</td></tr><tr><td>家事手伝い</td><td>6 名</td></tr><tr><td>進学・就職未定</td><td>5 名</td></tr><tr><td>未定</td><td>8 名</td></tr></table> ※「未定」にはアルバイト等を含む b. 神戸常盤大学・同短期大学部への推薦入学者数 <table><tr><td>医療検査学科</td><td>6 名</td></tr><tr><td>看護学科</td><td>14 名</td></tr><tr><td>診療放射線学科</td><td>0 名</td></tr><tr><td>こども教育学科</td><td>22 名</td></tr><tr><td>口腔保健学科</td><td>10 名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>52 名</td></tr></table> ①進路指導体制の充実 本校へ求人を送ってきた事業社・求人数 (9 月 1 日現在) 事業社：指定求人 95 社 公開求人社 298 社 求人数：434 名 特に、就職を希望している生徒には就職後、長く続けられるよう仕事への心構えや基本的な知識をできるだけ身につけさせたい。就職が決定した生徒にはハローワークと連携して社会人準備講座等を実施した。 進路講座、進路ガイダンス、進学・就職面接指導、試験前指導等を適宜実施。 保護者対象進路説明会 (5 月 9 日・10 日) 個別就職セミナーは 5 月 27 日より毎週、月曜日の放課後実施。 社会人準備講座 (11 月 25 日～)	進学	222 名	<内訳> 四年制大学	105 名	短期大学	28 名	専門学校	89 名	就職	73 名	家事手伝い	6 名	進学・就職未定	5 名	未定	8 名	医療検査学科	6 名	看護学科	14 名	診療放射線学科	0 名	こども教育学科	22 名	口腔保健学科	10 名	合 計	52 名
進学	222 名																														
<内訳> 四年制大学	105 名																														
短期大学	28 名																														
専門学校	89 名																														
就職	73 名																														
家事手伝い	6 名																														
進学・就職未定	5 名																														
未定	8 名																														
医療検査学科	6 名																														
看護学科	14 名																														
診療放射線学科	0 名																														
こども教育学科	22 名																														
口腔保健学科	10 名																														
合 計	52 名																														
		②特進コース授業内容の検討と実施 ・習熟度別授業、少人数授業、補充授業、土曜講習等 ・学習合宿の継続と内容の充実化	②特進コース授業内容の検討と実施 大学特進看護医療コース「コミュニケーション英語Ⅱ」を 2 クラスに分け習熟度別授業を実施。 土曜講習について、3 年生は 5 月より、2 年生は 6 月より、1 年生は 9 月より実施。 学習合宿を昨年に引き続き 2 泊 3 日で実施。1・2 年特進コースの 172 名が全員参加。塾講師や特進コースの卒業生も入り充実した 3 日間であった。(8 月 26 日～28 日)																												
		③キャリア教育の充実 ・各種検定試験の実施 ・コミュニケーション能力向上等も含めたトキワクト（農業体験、福祉教育体験）の推進 ・「介護職員初任者研修」の実施	③キャリア教育の充実 ・各種検定試験（全商ビジネス文書実務検定・全商ビジネスコミュニケーション検定・秘書検定等）を実施。 ・トキワクト（農業体験、福祉教育体験） 7 年目に入り、勤労意欲、協調性、コミュニケーション能力等で効果が現れている。その影響は個々の進路へも見受けられるようになった。3 年生の報告会は企画、発表とも生徒が行い、トキワクトの成果の一端が見られた。 2 年生キャリアコースでは「鳴門オレンジを植樹、育てる」新しい取り組みを計画、進行中。現 3 年生が昨年 2 年の時に始め、家庭科とのコラボで鳴門オレンジ入りクッキーを試作した。現 2 年生がその後を引き継ぎ取組中である。 淡路市志筑に 2 年キャリアコースの生徒が研修を兼ねて校外学習。(8 月 29 日) 淡路で開催された「ナチュラルライフフェスタ」に参加。(11 月 2 日・3 日) ・「介護職員初任者研修」（従来のホームヘルパー2 級取得） 3 年目。希望制。定員 20 名。年間 19 回、130 時間の講習・実習。 昨年度は 20 名の生徒全員が合格し、認証状を授与された。 今年度は 19 名（3 年生 7 名、2 年生 12 名）の生徒が認証状を授与された。 事前説明会（5 月 31 日、6 月 7 日、7 月 19 日） 7 月 20 日～11 月 16 日の夏休み期間中と土・日 19 回、1 日 7 時間講習。 4 名の専門講師により講習は高校で、実習は大学の演習室をお借りして実施。																												
		④神戸常盤大学との連携による神戸常盤大 学進学者への事前学習の充実	④神戸常盤大学との連携による神戸常盤大学進学者の事前学習の充実 神戸常盤大学・同短期大学部受験予定者の学習指導を 9 月中旬より毎週火・木曜日に実施。また、土曜講習でも実施した。																												

4	生徒指導	①基本的生活習慣の徹底 本校の努力目標 「欠席・遅刻をしない」 「端正な容姿を保つ」 「気持ちよく挨拶をしよう」の習慣化	①基本的生活習慣の徹底 本校の努力目標を全校朝礼、学年集会等で繰り返し述べ、それが社会人として基本的なマナーであることを説論している。 登下校指導、風紀指導、遅刻欠席指導は毎学期定期的に実施。 1年生オリエンテーション合宿 参加生徒 256名－蒜山高原－（4月15日～17日） 高校生活に早く慣れること、新しい仲間との関係構築のため毎年実施している。																					
		②生命の尊重、生きる力の育成	②生命の尊重、生きる力の育成 性教育（兵庫県総合衛生学院の実習講義）やトキワクトにより命の大切さ、自己の大切さ、生きる力をつける大切さ、学校行事を通じて仲間の大切さ等を育成中。 STI 講習会を実施。 兵庫医科大学教授による講演「性感染症と HIV・エイズについての基礎知識」																					
		③人権教育の徹底 「いじめ防止対策委員会」基本方針により生徒への見守り強化	③人権教育の徹底 「神戸常盤女子高等学校いじめ防止基本方針」（平成 26 年度策定）に則り、推進委員会を開催。 仲間意識のさらなる構築と自己肯定ができる環境づくりの形成に職員組織全体で生徒を見守っていくことを確認している。																					
		④諸規定の再確認と検討	④諸規定の再確認と検討 携帯電話の所持については申請許可制で、「学校内では電源を切り一定の袋に入れている状態での持ち込みは許可をする。」に昨年、変更した。携帯電話については校内外での正しい使用について教えていかなければならない。登下校の使用是非のこともあり検討中である。 警報時の休校等の扱いについては確認と検討。																					
		⑤各学年における風紀検査指導、校内外の巡回指導の継続実施	⑤各学年における風紀指導、校内外の巡回指導 登下校指導、風紀指導、遅刻欠席指導は毎学期定期的に実施。 保護者にも協力を依頼しなければならない時は保護者召喚も学期末に実施。																					
		⑥薬物乱用防止講習会継続実施	⑥薬物乱用防止講習会 兵庫県から配布されたパンフレット等を使用し学年集会・HR等で指導。（6月）																					
		⑦情報ネット（携帯サイト）犯罪防止教育 の継続実施	⑦情報ネット（携帯サイト）犯罪防止教育の継続実施 1年生の情報教育の授業でコンピューターやスマートフォンの正しい使い方を指導。 「防犯講座、スマホ・ケータイ安全教室」を実施。講師 2 名。（6月 5 日）																					
5	募集対策	①募集活動の強化 ・中学校訪問での科・コース等の特色、奨学金制度、神戸常盤大学との連携、進路の状況等の広報 ・各中学校での進路講話への参加と中学生の本校訪問の拡大	【令和 2 年度入学者数】 ※（ ）内 は昨年度実績 <table><tr><td></td><td>受験者数</td><td>入学者数</td></tr><tr><td>家庭科</td><td>166 名（150 名）</td><td>96 名（ 72 名）</td></tr><tr><td>普通総合コース</td><td>168 名（187 名）</td><td>87 名（102 名）</td></tr><tr><td>大学特進こども教育コース</td><td>109 名（114 名）</td><td>27 名（ 36 名）</td></tr><tr><td>大学特進文系コース</td><td>27 名（ 25 名）</td><td>9 名（ 7 名）</td></tr><tr><td>大学特進看護医療コース</td><td>179 名（139 名）</td><td>68 名（ 41 名）</td></tr><tr><td>合 計</td><td>649 名（615 名）</td><td>287 名（258 名）</td></tr></table> ※受験者の中で専願者は 242 名いたが、併願者の戻り数が 11.5％（昨年 17.4％）と少なく、定員を割ってしまった。家庭科、特進はまずまずの受験者数であったが総合コースが減り、次年度の募集の課題か。科、コースの特色をさらにアピールして受験者数を増やしていきたい。 ①募集活動の強化 ・募集会議 「高等学校等修学金支援制度」にともない本校の奨学金制度の見直し、部活動特待生への見直し等を検討。本校は常盤就学支援制度等により経済的に困難な家庭に対しても配慮をしている。この点においても広報をしたがさらに丁寧に中学校に説明していきたい。科、コースの特色をさらにアピールしていくことを確認。 ・中学校訪問での科・コース等の特色、奨学金制度、神戸常盤大学との連携状況等の広報。 第 1 回（5 月 20 日～） 新入生（1 年生）の近況報告。進路講話会講師派遣の案内文の配布。 第 2 回（6 月 24 日～） オープンスクール 1 回目、2 回目の案内はがき配布。 第 3 回（9 月 3 日～） ポスター、ミニパンフレット等配布。見学会への依頼。 第 4 回（10 月 22 日～） 募集要項の説明。教育相談資料の配付。 第 5 回（2 月 14 日～） 考査結果の報告。後期募集の案内。 ・各中学校で行われる進路講話への参加。 今年は神戸地区を中心に 36 校に参加。（昨年は 31 校） 募集担当が中学校側の要請で進路講話の講師として高等学校の特色等の話をする。 直接、中学生・保護者に本校のことも話せる機会であり効果は大きい。 今年は募集担当だけでなく、家庭科、特進クラスの担任にも参加してもらった。 ・神戸市中学校家庭科教員と本校家庭科教員との合同研修会（8 月 2 日） 今年度で 6 回目。第 3 調理室、食堂を使用して調理実習と試食会。 試食会では中高の教員同士で意見交換会。募集担当も質問等を受けた。 中学校家庭科教員参加数：24 名		受験者数	入学者数	家庭科	166 名（150 名）	96 名（ 72 名）	普通総合コース	168 名（187 名）	87 名（102 名）	大学特進こども教育コース	109 名（114 名）	27 名（ 36 名）	大学特進文系コース	27 名（ 25 名）	9 名（ 7 名）	大学特進看護医療コース	179 名（139 名）	68 名（ 41 名）	合 計	649 名（615 名）	287 名（258 名）
	受験者数	入学者数																						
家庭科	166 名（150 名）	96 名（ 72 名）																						
普通総合コース	168 名（187 名）	87 名（102 名）																						
大学特進こども教育コース	109 名（114 名）	27 名（ 36 名）																						
大学特進文系コース	27 名（ 25 名）	9 名（ 7 名）																						
大学特進看護医療コース	179 名（139 名）	68 名（ 41 名）																						
合 計	649 名（615 名）	287 名（258 名）																						

5	募集対策	②オープンスクール、塾説明会の内容の検討と私学展への参加	②オープンスクール、塾説明会の実施と私学展への参加 ○オープンスクール ※（ ）内は昨年度実績、ただし、第2回は予定者数 ・第1回 7月27日 参加数：生徒213名（昨年度166名）、保護者180名（120名） 計393名（286名） 大学の職員6名と大学生が仕事内容の紹介、体験実習等の講座を開設してくれた。特に「ラジエーションハウス（診療放射線技師）の世界をのぞいてみよう」の講座では丁寧な説明参加した中学生・保護者が強い興味を示していた。 ・第2回 8月24日（ 昨年度は台風による警報発令で中止 ） 参加数：生徒257名（205名）、保護者246名（165名） 計503名（370名） 大学体験学習を実施。大学の設備見学、各学科の説明に多くの大学職員が関わっていただき参加者は熱心に聞き入っていた。大学の支援に感謝したい。今年は参加数も多く、また、参加してくれた中学生・保護者のアンケートでも好評であった。特に第2回目の8月は、大学の手厚い支援をいただき保護者にも良い印象を持ってもらった。 ○塾説明会（9月12日） ※（ ）内は昨年度実績 参加塾：34塾（昨年度39塾） 参加人数：43名（昨年度42名） ○私学展及び私学フェスティバルに参加 ※（ ）内は昨年度実績 ・第1回 8月4日（於：ホテルヒューイット甲子園） 本校ブース相談者 6組 ・第2回 8月17日・18日（於ハーバーランド） 本校ブース相談者 66組（75組） 昨年に引き続き「エキシビジョン部門」に吹奏楽部、バトントワーリング部が参加。「カルチャー部門」には家庭科被服コースの生徒作品を展示した。
		③学校説明会、入試説明会の効果的な内容 の検討と実施	③学校説明会、入試説明会 10月26日～12月21日の土・日、計13回を予定している。 今年は11月9日に「家庭科体験 Day」を開催、家庭科説明、施設見学、体験授業を実施。（参加生徒50名、保護者39名）
		④ホームページの更新と内容の検討	④ホームページの更新と内容の検討 在校生の活動（学校行事・部活動等）を多く取り上げ更新を頻繁にしている。 中学生、保護者からホームページを見ての問い合わせも多くなっている。
		⑤募集関係パンフレット、広告等の検討	⑤募集関係パンフレット、広告等の検討 今年も在校生・卒業生をアピールしたパンフレットを作成、7月配布。 校外での活動、行事、部活紹介、ボランティア活動等、地域掲載誌にアピール、取り上げてもらった。
		⑥広報紙「ときわ」の作成・配布	⑥広報紙「ときわ」の作成・配布 「ときわ17号」を発行、オープンスクールや中学校訪問で配布。（7月19日） 「ときわ18号」を発行、見学会や中学校へ配布。（12月1日）
		⑦本校の魅力ある教育活動、在校生・卒業生の活動の発信 ・家庭科の調理製菓コース実習授業、被服コースの文化祭での発表の広報 ・進学コース、こども教育コースでの個別ピアノレッスンの広報 ・介護職員初任者研修の広報 ・部活動の広報	⑦本校の魅力ある教育活動、卒業生・在校生の活動の発信 オープンスクールでは学校行事やコース、部活動で活動している生徒の様子を写真紹介。卒業生で現役の看護師や看護師を目指している大学生が中学生、保護者に説明してくれた。また、神戸常盤大学に在籍している卒業生が高大連携の様子をアピールしてくれた。 ・学校パンフレットに「個別ピアノレッスン」、「介護職員初任者研修」の様子も掲載。 ・生徒たちの活動を地域掲載誌にアピール、取り上げてもらった。
		⑧在校生による中学校への母校訪問	⑧在校生による中学校への母校訪問 部活動に入部している生徒に中学校への母校訪問を依頼した。（8月）
6	高大連携（学園内交流）強化	①学園一体化推進委員会の設置と具体案の検討と実施	①学園一体化推進委員会 学園全体の一体化推進委員会設置を受けて校内においても「一体化推進委員会」を実施。学園一体化推進委員会の意見を受け校内で協議。 校内一体化推進委員会 ・神戸常盤大学・同短期大学部に進学希望する生徒の増加と学力アップを図ることを確認。 ・こども教育学科進学生への「系列校特別奨学金制度」周知の取り扱いを確認。
		②オープンスクール、学校見学会における大学との連携	②オープンスクール、学校見学会における大学との連携 ・第1回オープンスクールでは常盤大学の臨床検査技師や歯科衛生士、来年度、開設される放射線科の職員が体験実習を兼ねた講座を担当、本校看護コースへの関心を高めてくれた。（7月27日） ・第2回オープンスクールでは大学体験学習で多くの大学職員が大学の施設見学、学科の説明をグループごとにしていただき参加した中学生・保護者の特進クラスへの関心を高めてくれた。（8月24日） ・学校見学会では神戸常盤大学の見学を希望した中学生、保護者の案内を法人局中心にしてもらい、好評であった。
		③卒業生（神戸常盤大学・同短期大学部進学生）を活用した取り組みの活動拡大 オープンスクール、学習合宿、広報紙作成等	③卒業生（神戸常盤大学・同短期大学部進学生）を活用した取り組みの活動拡大 ・オープンスクールでは「こども教育」、「看護体験」の講座を開設、本校の卒業生で現役の保育士・幼稚園教諭、看護師が体験実習をしてくれた。（7月27日） ・学習合宿では特進コースの卒業生が参加、学習のアドバイスをしてくれた。（8月27日） ・広報紙「ときわ17号・18号」でも卒業生がメッセージを寄稿、関心を高めた。（7月19日、12月1日）
		④文化祭での健康チェック実施	④文化祭での健康チェック実施 文化祭で「健康チェックコーナー」を開設、大学職員と本校の卒業生が担当し実施。（10月5日）
		⑤「KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタ」での協力	⑤「KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタ」での協力 今年も多くの生徒がボランティアで参加。 約60名（10月13日） キャリアコースは昨年と同じく「焼き芋コーナー」を開設し、好評であった。

6	高大連携（学園内交流）強化	⑥高大連携によるボランティア活動の実施	⑥高大連携によるボランティア活動 ・神戸常盤ボランティアセンターに登録している生徒を中心に定期的、不定期的にボランティア活動を実施。 ・大学生と共同での募金活動、大学の協力を得て高校単独での募金活動を実施。 ・地域交流事業、KOBETOKIWA健康ふれあいフェスタ等、大学の行事への活動に参加。（ボランティアセンターとの活動、小豆島地域交流事業、KOBETOKIWA健康ふれあいフェスタ等）
		⑦神戸常盤大学・同短期大学部との進学前学習の充実	⑦神戸常盤大学・同短期大学部との進学前学習 ・高大連絡協議会（6月24日） 本年度、神戸常盤大学・同短期大学部への指定校推薦での入学者は以下のとおり。 医療検査学科6名、診療放射線学科0名、看護学科14名、こども教育学科22名 口腔保健学科10名 計52名 ・神戸常盤大学・同短期大学部受験者の受験対策である土曜講習を実施。（9月～） ・大学の協力により進学前学習を実施。
		⑧法人本部IR推進室との連携による「高校IR」構築への検討と実施	⑧「高校IR」構築への検討と実施 高校IRの構築のため足利常務理事にも入っていただき、本校職員と法人本部IR推進室の職員との定期的な会合を実施。技術的な面も含め推進中である。
		⑨従来の具体的な連携事業の継続 全学年歯科検診、3年大学見学会、2年N看護学科体験授業、1年N看護学科体験授業、オープンスクール大学見学会、2年NUE口腔保健学科見学会、2年Eこども教育学科体験授業、2年E「音楽」保育進学基礎授業、文化祭健康講座、進学前学習セミナー、ボランティアセンター活動参加等	⑨従来の具体的な連携事業の継続 ・歯科検診：3年生（4月11日）、2年生（4月18日）、1年生（4月19日） ・進路講座：3年生（4月24日）、2年生（6月11日） ・神戸常盤大見学会：2・3年生神戸常盤大学・同短期大学部進学希望者対象（5月24日） ・看護学科体験授業：2年生大学特進看護医療コース（6月26日） ・看護学科体験授業：1年生大学特進看護医療コース（9月19日） ・こども教育学科「音楽」の体験授業：2年生大学特進こども教育コース（9月10日） ・口腔保健学科体験授業：2年生普通科進学コース（9月12日） ・神戸常盤大学口腔保健学科生による高校での実習授業（11月14日） ・ときわ幼稚園見学：1年生大学特進こども教育コース（11月27日） 2年生大学特進こども教育コース（11月28日） ・ときわ病院見学実習：2年生大学特進看護医療コース（12月18日・20日） ・神戸常盤大学入学進学者対象入学前オリエンテーション（12月13日、2月25日） ・こども教育学科体験授業：1・2年生大学特進こども教育コース（1月30日、2月17日） ・第1回オープンスクールで大学職員による講座を開設し実施してもらった。（7月27日） ・第2回オープンスクールで大学職員による大学施設見学、説明会を実施してもらった。（8月24日） ・文化祭では健康講座を在校生と一緒に開設してもらった。（10月5日） ・「オリーブ島の地域交流合宿事業」（8月18日～20日） 高校からは生徒4名、引率教員1名参加。 ・高大連絡協議会（6月24日） ・国際交流センター会議（4月15日、5月13日、・6月10日、7月8日、9月17日、10月8日、11月11日、12月9日、2月3日、3月9日）
7	教員研修	①教職員研修の推進	①教職員研修 兵庫県高校部会、私学連合会等の各種研修に参加。 初任者研修会に参加。（7月11日） 特別支援教育研修会に参加。（9月24日） 本校家庭科職員と神戸市中学校家庭科職員との合同研修会、意見交換会。（8月2日）
		②教科内研修の実施	②教科内研修 毎学期、教科会にて教科指導、有効な教材、評価について意見交換を実施。（7月12日）
		③生徒指導研修の実施	③生徒指導研修 いじめ防止対策、体罰防止対策等を念頭に置き生徒指導の共通理解と研修を実施。また、生徒の健康面における共通理解のための研修も実施。（4月1日・5日） 学年ごとに実施している生活に関する指導の共通理解と課題を運営委員会及び生徒指導委員会等で検討し職員会議にて意見交換を実施。 運営委員会（月曜日）、職員会（水曜日）
8	その他	①基本構想委員会の審議決定事項の推進を検討委員会で審議された項目において毎年確認をしていながら推進	①基本構想委員会の審議決定事項の推進を検討委員会で審議された項目において毎年確認をしていながら推進 検討委員会（4年間で34回：平成21年9月～24年12月）で審議、決定された項目において毎年確認をして推進している。 ・建学の精神を堅持し、女子高としての特色をアピールした。 ・三つの努力目標をしっかりと身につけさせる。そのための取り組みを進めた。 ・普通科（総合コース・特進コース）、家庭科（調理製菓コース・服飾コース）の特色づくり。 ・トキワクト（農業体験・ボランティア活動）のさらなる充実。 ・幅広い高大連携の推進（推薦入試・各教育活動・職員交流等）。 ・広報活動の充実。特色ある教育活動や在校生、卒業生の活躍を積極的に広報していった。
		②女子高校としての魅力ある特色の発信	②女子高校としての魅力ある特色の発信 オープンスクールで本校の在校生たちが直接、中学生、保護者に女子高の良さを話す機会を多くつくった。また、学校の日常を写したパネル等を掲示して本校のほのぼのとした雰囲気を感じてもらった。
		③学校評価 生徒対象学校評価アンケート 保護者対象学校評価アンケート 教職員対象学校評価アンケートの実施と検証	③学校評価 生徒対象学校評価アンケート・保護者対象学校評価アンケート・教職員対象学校評価アンケートを学年末に実施。
		④防災教育、避難訓練の実施、防災意識の向上 「命の大切さ」を中心に添えた教育と実践 活動の継続	④防災教育、避難訓練の実施、防災意識の向上 火災における避難訓練を実施。避難経路の確認と防災意識の向上を図った。（9月6日） 阪神淡路大震災追悼式及び神戸市シェイクアウト避難訓練（1月17日）

8	その他	⑤個人情報の管理と教務システムの効率的 運用	⑤個人情報の管理と教務システムの効率的運用 教務システムの効率的な運用と同時に情報セキュリティの対策を検討。 高校 IR の構築に向け大学 IR 推進室と協議。
		⑥募集活動に関するデータ資料の効率化と分析、検証	⑥募集活動に関するデータ資料の効率化と分析、検証 過去のデータをもとにパンフレット作り、広報、オープンスクール、中学校訪問を実施。
		⑦美化清掃体制の強化、備品管理の徹底	⑦美化清掃体制の強化、備品管理の徹底 女子高の強みを活かし全校生による丁寧な清掃活動を実施している。生徒会を通じた節電、節水も含め、伝統ある校舎への愛着心を高めていった。

幼稚園

1	園児募集対策	①未就園児保育の充実 ②通園バスの広域運行 ③子育て総合支援施設 KIT との連携 ④特色ある教育の推進 ⑤その他募集対策等	幼児教育無償化が 10 月から始まり、2 歳児クラスや満 3 歳児入園への問い合わせが増えた。その為、未就園児親子が参加するこりすクラブの内容充実を図り、2 歳児クラスへの入会につなげるよう努めた。また、ホームページから入園見学等の情報を得る保護者が増えているため、ホームページを細やかに更新するよう努め、本園のことを広く周知してもらえるようにした。特に附属幼稚園としての特色を出すため、大学教員が講師を務めるキッズクラブ、子育てセミナー等は事前案内やブログに詳細を記載するようにした。 【入園児数】 令和元年度 <table><tr><th></th><th>入園児数</th><th>在園児数</th></tr><tr><td>満 3 歳児</td><td>4 名</td><td>4 名</td></tr><tr><td>3 歳児</td><td>13 名</td><td>14 名</td></tr><tr><td>4 歳児</td><td>1 名</td><td>10 名</td></tr><tr><td>5 歳児</td><td>0 名</td><td>16 名</td></tr><tr><td>合計</td><td>18 名</td><td>44 名</td></tr></table> 入園見学会 令和元年 9 月 4 日、10 日 令和 2 年度 <table><tr><th></th><th>入園児数</th><th>在園児数</th></tr><tr><td>満 3 歳児</td><td>0 名</td><td>0 名</td></tr><tr><td>3 歳児</td><td>12 名</td><td>16 名</td></tr><tr><td>4 歳児</td><td>0 名</td><td>13 名</td></tr><tr><td>5 歳児</td><td>0 名</td><td>10 名</td></tr><tr><td>合計</td><td>12 名</td><td>39 名</td></tr></table> ①未就園児保育の充実 ・2 歳児クラス（ちゅうりっぶ組） 詳細は後述の「2 子育て支援事業の推進」に記載 ・こりすクラブ（0～3 歳児） 詳細は後述の「2 子育て支援事業の推進」に記載 ②子育て総合支援施設 KIT との連携 ときわんクニヅカ、ときわんモトロクとの連携を図り、夏期休暇中に「幼稚園の先生と遊ぼう」を開催し、園の説明を実施。 ③通園バスの広域運行 幼稚園専用バス（通勤用）と大学のバス、計 2 台の通園バスにて運行。次年度からはときわんモトロクの利用者のニーズに対応し、神戸駅方面に送迎範囲を拡大。 ④特色ある教育の推進 保育目標に基づき、「自然との関わり」など例年どおり実施。 神戸常盤女子高等学校キャリアコースで開講しているトキワクトに一部参加。異年齢交流やサツマイモの苗付けや収穫などを体験。 5 月 30 日 サツマイモの苗付け 11 月 13 日 いもほり ⑤その他募集対策等 入園募集パンフレット、ポスターの作成（ポスター掲示箇所：40 ヶ所）		入園児数	在園児数	満 3 歳児	4 名	4 名	3 歳児	13 名	14 名	4 歳児	1 名	10 名	5 歳児	0 名	16 名	合計	18 名	44 名		入園児数	在園児数	満 3 歳児	0 名	0 名	3 歳児	12 名	16 名	4 歳児	0 名	13 名	5 歳児	0 名	10 名	合計	12 名	39 名
	入園児数	在園児数																																					
満 3 歳児	4 名	4 名																																					
3 歳児	13 名	14 名																																					
4 歳児	1 名	10 名																																					
5 歳児	0 名	16 名																																					
合計	18 名	44 名																																					
	入園児数	在園児数																																					
満 3 歳児	0 名	0 名																																					
3 歳児	12 名	16 名																																					
4 歳児	0 名	13 名																																					
5 歳児	0 名	10 名																																					
合計	12 名	39 名																																					
2	子育て支援事業の推進	①ちゅうりっぶ組（2 歳児クラス） 週 3 日（月・水・金）開催 2 歳児のみ登園 5 月より 2 学期より在園児と同じ 14 時まで保育を行い、給食を導入（2 学期は希望制、3 学期は全児） ②こりすクラブ（0～3 歳児） 年間 毎週木曜日開催 親子登園 ③育児相談事業 4 月～翌年 3 月（72 日） 保護者の要請に対応 ④兵庫県補助対象事業 ・わくわく陽だまり事業 ・乳幼児子育て応援事業 ・親子学級 ・みんなの幼稚園事業	①ちゅうりっぶ組（2 歳児クラス） 週 3 回（月・水・金）実施 年間 84 回実施 2 学期から保育時間延長（13 時まで→14 時まで）、週 1 回の給食実施 ②こりすクラブ（0～3 歳児） 年 間 25 回 利用者数 135 名（延べ数） 平均参加人数 5 組 夏期休暇中は神戸市私立幼稚園連盟開催の「夏休みだ幼稚園に行こう」事業に参加し計 3 回の園庭開放実施。 参加親子：延 32 組 ③育児相談事業 ②④にて 年間 72 日 実施 ④兵庫県補助対象事業 ・子育てセミナー 5 月 29 日 人形劇 6 月 18 日 おこづかい教育出前教室 7 月 11 日 あそびうた 9 月 12 日 プログラミングについて知ろう（こども教育学科 高松 邦彦准教授医療検査学科 関 雅彦准教授） 11 月 7 日 手芸を楽しもう 12 月 3 日 カラーコーディネート 2 月 21 日 親子体操（元当短期大学 末吉千恵子先生・こども教育学科 近藤みづき講師） ・その他兵庫県補助対象事業 上記①～③にて実施																																				

2	子育て支援事業の推進	⑤預かり保育事業 年間 220 日（夏季休業中を含む） 保育終了後 17:30 まで	⑤預かり保育事業 預かり保育専従の常勤教諭配置：1 名 ＜平 日＞ 保育時間終了後～16：30 まで 年間 156 日実施 平均利用幼児数 6 名 ＜長期休業日＞ 実施日数 33 日 平均利用幼児数 5 名
		⑥子育て支援カウンセラー事業の開始 兵庫県補助事業（令和元年度～） 臨床心理士、学校心理士、精神科医の資格を有するカウンセラーを配置し、保護者相談や教員への指導助言を実施	⑥子育て支援カウンセラー事業の開始 9 月以降、毎月第 2 金曜日に設定 カウンセラー：看護学科 岩越美恵教授
3	神戸常盤女子高等学校生徒の高校生保育体験授業の受け入れ等	私立幼稚園高校生保育体験事業受け入れ（補助金対象事業）	私立幼稚園高校生保育体験事業受け入れ（補助金対象事業） 11 月 27 日 1 年生：41 名（神戸常盤女子高等学校） 11 月 28 日 2 年生：30 名（神戸常盤女子高等学校）
4	危機管理対策	①園児指導 職員研修（防災・防犯）	①園児指導 職員研修（防災・防犯） 12 月 10 日 交通安全教室実施
		②避難訓練 年 3 回実施予定	②避難訓練 6 月 16 日、11 月 25 日、1 月 15 日 避難訓練実施（防災・防犯訓練園児指導、職員研修）
		③施設設備の点検と避難経路確保	③施設設備の点検と避難経路確保 隔月実施
5	大学との連携	①実習生受け入れ ②こども教育学科 ボランティア学生受入 ③キッズクラブ及び子育てセミナー講師	左記①～③ ●こども教育学科 ・5 月 25 日～6 月 27 日 3 年生観察実習受け入れ ・9 月 17 日～20 日 2 年生基礎演習Ⅱ履修生受け入れ ・9 月 17 日・18 日 1 年生観察実習受け入れ ・12 月 3 日 実習生受入「リトミック」 ・5 月 22 日、6 月 21 日・28 日、7 月 4 日・9 日、9 月 11 日・13 日・19 日、10 月 18 日 24 日、11 月 8 日・15 日・19 日 12 月 5 日・11 日、1 月 22 日、2 月 18 日 ときわキッズクラブ講師 ・5 月～1 月 ボランティア受け入れ ・12 月 13 日、3 月 12 日 職員研修講師 ●看護学科 ・7 月 18 日 身体測定実習受け入れ ●口腔保健学科 ・4 月 22 日 フッ化物染口法指導 ・6 月 14 日 歯科検診 ・10 月 18 日 歯みがき指導実習受け入れ ●医療検査学科 ・11 月 27 日 ときわキッズクラブ講師
6	その他	①神戸常盤女子高等学校「キャリアコース」にて開講している「トキワアクト」に参加（一部）	①神戸常盤女子高等学校「キャリアコース」にて開講している「トキワアクト」に参加（一部） 詳細は項目「1－③」のとおり。
		②幼稚園無償化について	②幼稚園無償化について 10 月より実施し、現在に至る